

# リデン「agmiru」の総合防除における活用方法

 Who	 How	 What(提供価値)	
対象	提供方法	短期のPDCA	長期のPDCA
農家	振り返り機能(ダッシュボード(④)/日誌リスト)やレポート作成・グラフ分析機能(⑤)により、前作の病害虫状況や対策内容を、容易に振り返ることができる	直近の作業を振り返ることで、自身が実施した対策の効果や、病害虫の大小を早期に検討し、営農期間中に次の対策の参考とすることができる	過去の病害虫状況の分析に基づき、今作に必要な対策を検討することができる
	HeSo+との外部連携により、病害虫状況の診断・評価、対策立案まで提供することができる(実装予定)	—	診断結果に応じた防除計画を検討し、作業の効率化や農薬散布量を低減することができる
複数組織を束ねる 農業法人 や 普及機関	病害虫マップ(⑥)や各地域の病害虫発生予察情報(実装予定)から、リスクのある病害虫を、LINE等の活用(②)により、いち早く農家周知できる	管内の農家に、リスクを早期に検知し、産地の病害虫リスクを低減できる	—
	各生産者という組織単位で管理できるため、担当地域の防除状況について、レポート機能(⑤)を用いて包括的に分析できる	地域で緊急度の高い病害が発生した場合、営農期間中に予防・防除等の評価を行い、作業毎に改善を検討できる	地域単位で作期全体を通して評価を実施し、作期毎に改善を重ねていくことができる

※Heso+について：<https://hesodim.jp/>

※番号毎の機能の詳細は、別途作成した「モデル事例（プロセス別の特徴とメリット）」を参照のこと